

# セミナーのお知らせ

## がんの染色体不安定性の病理機構とその制御方法の開発研究

細胞増殖制御が破綻したがん細胞は、細胞分裂の際の染色体の分配に精度を欠き、細胞が分裂するたびに染色体数が増減する「染色体不安定性」と呼ばれる状態に陥ることが多い。その結果、多様に変化した染色体をもつ細胞から形成されているがんは、治療に抵抗性であることが知られている。

私たちの研究室では、染色体の形成から分配までを滞りなく進める細胞機能を解明し、染色体不安定性の分子メカニズム及びその病理的な意義を理解することを目指している。そのなかでM期キナーゼのAurora Bのはたらきが、染色体分配に中心的な役割を担っていること、その活性の低下レベルががん細胞の染色体分配エラーの程度をよく反映することが明らかになってきた。本セミナーでは、こうした知見を足掛かりに、がんの染色体不安定性の病理機構の最も新しい知見を紹介し、染色体分配の制御機構の脆弱性をピンポイントに介入する治療法開発の試みについても議論したい。

広田 亨 先生

がん研究会がん研究所実験病理部・部長

日時 2025年3月28日（金）  
16：00-17：00

場所 微生物病研究所 本館1階  
微研ホール



※本セミナーは大学院医学系研究科及び生命機能研究科の単位認定セミナーです。



**RIMD**  
Research Institute for  
Microbial Diseases  
大阪大学微生物病研究所

【連絡先】  
微生物病研究所 分子生物学分野  
原 英二  
ehara@biken.osaka-u.ac.jp